

大阪医療看護専門学校 看護学科 A

研修先大学：シティカレッジ・オブ・サンフランシスコ（米国カリフォルニア州）

【研修の特色】

本学科の3日間研修は、米国という日本と異なった環境で看護を学ぶところに大きな特徴をもっています。特にサンフランシスコは、様々な文化、人種が融合しているため、看護師に求められる技術、国際感覚も高いものになっています。3日間の研修では、特別講義、実習に加え、実際の医療現場、介護福祉現場を見学します。また、現地の看護学生との合同実習や学術交流を通し、今後求められる看護師像の一端を学ぶ事を、その大きな特色としています。

渡航期間：2016年9月27日～10月3日

研修プログラム ※紙面の都合上、一部のプログラムのみを表記しています。

1日目 (9月28日) **【施設見学】**
セコイヤ・サンフランシスコ高齢者施設
【講義】
医療法と倫理

2日目 (9月29日) **【交流】**
学生研究発表会
【講義】
サンフランシスコ市立短期大学の看護教育の紹介

3日目 (9月30日) **【実習】**
看護シミュレーション実習
【施設見学】
病院見学



気道確保（退役軍人病院）

研修プログラムの紹介

講義・実習



医療法と倫理

看護実習先として退役軍人とその家族を治療対象とし、戦争でのトラウマに関連する喫煙・飲酒の治療も行う政府系病院を訪問しました。実習では、現地看護師の指導の下、実際の医療器具を使用し、「気道確保」「経鼻チューブ」「骨髄穿刺」「CPR」についての実践的な演習を行いました。また、座学では、米国独自の医療観が反映されている医療法と倫理の問題を話し合いました。

施設見学



セコイヤ・サンフランシスコ高齢者施設

セコイヤ・サンフランシスコ高齢者施設は、アパートの様な居住空間を確保しており、医療面では、質の高い看護と死に対するケアを同時に提供しています。また、食の楽しみとしてフルコース料理の提供や、健康の維持に対する様々なサービスとして、フィットネスやガーデニング、絵画、ビリヤード等の提供を行っています。

学生研究プレゼンテーション



発表演題：メンタルヘルス&自殺問題（看護師の精神衛生）

メンタルヘルスをテーマに、自殺やストレスマネジメントのデータを使用し発表しました。質疑応答を通し、日米間で、ストレスや自殺の要因にどのような違いがあるのかなど内容を深め、さらに文化的背景を知ることができました。米国の学生からは、看護学生のストレス要因への質問が多くあり、自分たちの今後の対策に役立てられると思います。



Pediatric Registered Nursing Instructor
Debra Mendes Giusto

担当教授のメッセージ

世界規模で活躍する看護師を目指して

サンフランシスコ市立短期大学での3日間研修は、今後世界規模で活躍が期待される皆様に多くの学びをもたらすと信じています。様々な「特別講義」に加え、最新鋭のシミュレーション機器を用いた「看護実習」、アメリカの医療現場の実際を垣間見る「病院見学」、日米の学生の看護観を分かち合う「学生交換発表会」など、大変質の高い研修内容になっています。そして、日米の若者が心から理解し合える、楽しい学生文化交流も、きっと将来役に立つ経験となるでしょう。

参加学生の感想



研修では、アメリカの先生のユーモアを交えた熱意ある指導をいただきました。シミュレーション授業では、実際に医療機器を使うなど実践的な体験ができたため、より理解することができました。また、アメリカの学生の積極的な学習姿勢は印象的で、私にとって良い刺激となりました。この貴重な経験を、今後の学習に活かせるよう励みます。

大阪府立野崎高等学校 出身 佐藤 涼麻

大阪医療看護専門学校 看護学科 B

研修先大学：ピアース・カレッジ（米国ワシントン州）

【研修の特色】

看護学科の3日間研修は、ヘルスケア分野の急速なグローバル化に対応すべく、将来の看護師像の一端を学ぶ事をその目的としています。地球規模での健康問題の理解、最新の医療シミュレーターを使っての実習体験、現地医療機関への視察、更には、言語・文化を異にする米国看護学生との学術交流体験をバランスよく網羅し、今後の各自の学びの指針を与えるものとなります。

渡航期間：2016年10月9日～10月15日

研修プログラム ※紙面の都合上、一部のプログラムのみを表記しています。

1日目 (10月10日) **【講義】**
米国特有の医療制度、法整備
安楽死法、医療用マリワナ等の概要紹介
米国の健康問題について
メンタルヘルス、肥満、寿命、保健未加入国民、アメリカの死因
【施設見学】
ライフケアセンター・サウスヒル

2日目 (10月11日) **【講義】**
患者とのコミュニケーションの取り方
高性能看護シミュレーション実習の導入・概要説明
【交流】
学生研究発表会
【実習】
看護シミュレーション実習

3日目 (10月12日) **【講義】**
米国医療の現状及び米国看護教育・資格制度の概要紹介
【施設見学】
聖クレア病院



高性能看護シミュレーション実習

研修プログラムの紹介

講義・実習



米国の医療事情

「米国特有の医療制度」「米国の健康問題」「米国医療の現状・教育」の講義を受けました。学生は日米の違いに大変興味を持って講義に聞き入っていました。実習では米国の大学2年生から、静脈注射、筋肉注射、高性能看護模擬実習を教わりました。幅広い機能を備えた高性能マネキンを使用し、実践ながらの技術習得体験を行いました。

施設見学



ライフケアセンター・サウスヒル

高齢者施設「ライフケアセンター・サウスヒル」は、在宅復帰を目的とした施設であり、リハビリが充実していました。総合病院「聖クレア病院」での見学では、ERや手術室、病棟、検査室を見学し、実際に動く看護師の姿や治療を受ける患者様を目の前に緊迫感がありました。米国の施設や病院の様子がわかる貴重な体験でした。

学生研究プレゼンテーション



発表演題：日本のメンタルヘルス

「メンタルヘルス・自殺問題」について発表を行いました。日本の自殺者数の多さに、アメリカの学生からは驚きの声があがりました。また、自殺の背景に関する質問が多くあり、アメリカの学生の考えの深さに刺激を受けました。また、質疑応答を通し、発表内容がより深まる良い機会となりました。



Nursing Program Director,
Pierce College Puyallup
Ronda Durano, MN, RN

担当教授のメッセージ

能動的な学びの姿勢を引き出す看護実習と座学

本校は、全米でも限られた大学にしかない「高性能看護シミュレーションラボ」という最先端の看護技術習得ラボを有し、研修生の皆さんは、ここで本校の学生と一緒に看護技術実習を行います。また、座学は参加型で、授業中は主体的に考えることを大事にしています。皆さまにとって本プログラムは、グローバルな視野を得る最初の一步となる期待されます。

参加学生の感想



研修では、日本と米国の医療の各々の良い所や今後の課題を考えながら学ぶことができました。米国の学生からは、常に疑問を持ち授業に臨む姿勢や看護に対する目的・根拠の理解や知識の深さに差を感じつつも刺激を受けました。研修によって、学びと共に課題も見つかり、国際看護師になりたいという気持ちが強まりました。

大阪府立刀根山高等学校 出身 星本 理美